

# 田原市給食センター整備運営事業

## 審査講評

平成23年10月5日

田原市給食センター整備運営事業審査委員会

田原市給食センター整備運営事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、田原市給食センター整備運営事業（以下「本事業」という。）の事業者選定に関する事項を審議・審査するため、田原市（以下「市」という。）により設置され、約1年にわたり民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）に基づく実施方針や募集要項等について審議を重ねるとともに、応募者の事業提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、この度、最優秀提案者と次点提案者を選定しました。

本事業は、現在センター方式と自校方式が混在している小中学校及び保育園、幼稚園の調理業務を、1つに集約する施設ということもあり、市民にとって関心が高く、また期待されている施設でもあります。そのため注目度も高く、審査委員会としては、非常に重い責務であることを痛感しつつ、慎重な議論に努めてまいりました。提出された事業提案書は、いずれもPFI手法の導入目的である民間の創意工夫・ノウハウの活用が期待でき、市の目的を十分に達成できるものであったと理解しています。

本審査講評は、審査委員会におけるこれまでの審議・審査の過程と審査の結果について公表するものです。

平成23年10月5日

田原市給食センター整備運営事業審査委員会

委員長	奥野 信宏
副委員長	松本 博
委員	黒柳 令子
委員	林 勇夫
委員	眞木 猛

## 目 次

1	審査の方法.....	1
2	審査委員会の開催経緯.....	1
3	審査結果.....	2
4	総評.....	17

## 1 審査の方法

### (1) 事業者選定の方法

事業者の募集及び選定の方法は、競争性の担保及び透明性・公平性の確保に配慮した上で、公募型プロポーザル方式とする。

事業者の選定に当たっては、提案価格、設計・建設、維持管理・運営に関する技術及び事業遂行能力等を総合的に評価し、優先交渉権者を決定する。

### (2) 審査の進め方

審査は、第一次審査として参加資格の有無を判断する「資格審査」、第二次審査として提案内容を評価する「提案審査」により実施する。「提案審査」は、提案価格や要求水準書に示す内容を満足しているか否かを確認する「基礎審査」と、提案内容の水準を様々な視点から総合的に評価する「総合評価」の2段階にて実施する。

### (3) 審査体制

審査委員会は、提案審査における評価項目の詳細に係る検討及び応募者から提出された事業提案書の審査を行う。また、市は、審査委員会の審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定する。

市が設置した審査委員会は、以下5名の委員により構成される。

委員長	奥野 信宏	(中京大学総合政策学部教授)
副委員長	松本 博	(豊橋技術科学大学教授)
委員	黒柳 令子	(愛知学泉大学准教授・管理栄養士)
委員	林 勇夫	(田原市副市長)
委員	眞木 猛	(田原市教育部長)

## 2 審査委員会の開催経緯

田原市給食センター整備運営事業審査委員会の開催と、審議・審査等の経緯は次のとおりである。

日 付	内 容
平成22年10月5日	第1回審査委員会 (設置、委嘱、事業概要の説明、実施方針(案)の審議)
平成22年11月25日	第2回審査委員会 (審査方法について、特定事業の選定についての審議及び承認等)

日 付	内 容
平成23年1月18日	第3回審査委員会 (審査及び公募書類等の審議及び承認等)
平成23年8月5日	第4回審査委員会 (基礎審査結果及び提案内容に係る自由討議について)
平成23年8月17日、18日	第5回審査委員会 (応募者のヒアリング)
平成23年8月30日	第6回審査委員会 (最優秀提案者、次点提案者の選定の審議及び承認等)

### 3 審査結果

#### (1) 資格審査

平成23年3月31日までに次の7グループから参加表明があり、いずれのグループも参加資格を有することを確認し、平成23年4月7日付けで資格審査結果を各グループへ送付した。

##### ■資格審査を通過した応募者（提出順）

- ・藤建設グループ
- ・魚国総本社グループ
- ・東急建設グループ
- ・グリーンハウスグループ
- ・トヨタ生活協同組合グループ
- ・東洋食品グループ
- ・吉川建設グループ

#### (2) 提案審査

##### 1) 事業提案書の提出

資格審査を通過した7グループのうち、平成23年7月7日までに下記の6グループから事業提案書の提出があった（吉川建設グループは参加を辞退）。

##### ■事業提案書を提出した応募者（提出順）

代表企業	構成員	協力会社
トヨタ生活協同組合	太啓建設（株） 豊橋建設工業（株） ホームックス（株） 日本調理機（株） （株）厨林堂	（株）松田平田設計

代表企業	構成員	協力会社
東急建設（株）	丸昇彦坂建設（株） 金田建設（株） 東海食膳協業組合 （資）田原製パン長栄軒 三菱電機ビルテクノサービス（株）	（株）石本建築事務所 （有）シュウエイ
（株）グリーンハウス	前田建設工業（株） （株）梓設計 （株）中部技術サービス （株）フジマック	
（株）魚国総本社	徳倉建設（株） （株）華古組 （株）南鐵建 （株）浦野設計 （株）中西製作所 丸天産業（株） 名古屋物流サービス（株）	
（株）東洋食品	安藤建設（株） （株）楠山設計 （株）ダイケングループ （株）アイホー （株）トーエネック 三菱UFJリース（株）	
藤建設（株）	（株）菰田建設 （株）八木工務店 （株）土井組 壽鑛業（株） I R A K A設計事務所 （株）長大 大新東ヒューマンサービス（株） 管財（株） ティ・オーオー（株） （株）東海テック （株）マルゼン 渥美貨物運送事業協同組合	

## 2) 基礎審査

応募者の提案価格が市の見込額の範囲内にあること及び提案内容が本事業の基本的条件及び要求水準を充足していることについて審査した結果、いずれのグループもすべての要件に適合していることを確認し、平成23年8月8日付けで基礎審査結果を各グループへ送付するとともに、総合評価の対象とした。

### 3) ヒアリング

審査委員会は、基礎審査において要件に適合していると確認された応募者に対し、提案内容についてのヒアリングを次のとおり実施した。

[実施日]:平成23年8月17日(水)、18日(木)

[会場]:田原福祉センター 3階 大会議室

[実施要領]:プレゼンテーション20分、質疑応答30分程度

### 4) 総合評価

#### (ア) 提案等に関する評価

審査委員会は、事業提案書及び応募者に対するヒアリング等を踏まえた上で、提案内容に関する評価を行った。なお、提案内容に関する評価は、評価項目ごとに審査委員会各委員が評価を行い、各委員の評価の平均をとる方法により実施した。

#### ① 事業計画に関する評価

事業計画に関する評価については、8点を配点し、次の4項目について審査を行った。

評価項目	講評
事業実施方針・組織体制及び事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・いずれのグループの提案も事業の実施方針については、本事業の特性を踏まえた上で、熟慮されかつ取組意欲を感じる提案であった。</li><li>・トヨタ生協グループは、人員・人材配置の適切性として一元的なマネジメントが実施される体制などについて評価された。</li><li>・東急建設グループは、衛生管理に精通した専門家を役割毎に配置する体制について評価された。</li><li>・グリーンハウスグループは、ヒアリング時の発表や回答において本事業への取組意欲が高く評価された。また、市との連絡調整窓口の一元化やその考え方、信頼性の高い事業遂行体制の提案が評価された。</li><li>・魚国総本社グループは、本事業の特性に関する適切な理解とそれらを踏まえた信頼性の高い事業実施体制の提案、各構成員の役割分担の適切性が評価された。</li><li>・東洋食品グループは、明確性のある本事業の実施方針が高く評価されるとともに、人員・人材配置の適切性について評価された。また、信頼性の高い事業実施体制や市との連絡調整体制、人材配置に係る提案について評価された。</li><li>・藤建設グループは、地元をできるだけ活用するという意欲的な実施方針及び地元企業が多く含まれた積極的な事業実施体制について評価された。</li></ul>

評価項目	講評
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループもバックアップサービサーに係る提案が具体的な内容であることが評価された。</li> <li>・東急建設グループ、グリーンハウスグループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループ、藤建設グループについては、リスクに対する対応者及び対処方法など具体的な提案が評価された。特に東洋食品グループは、事業特性を理解した提案がより高く評価された。</li> </ul>
業務品質の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンハウスグループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループについては、複数の段階に分けた実現性のあるセルフモニタリング方法の提案が評価された。特に東洋食品グループは、実績のある効果的なセルフモニタリングシステム及び外部評価の仕組みが評価された。</li> <li>・トヨタ生協グループ、東急建設グループ、藤建設グループは、セルフモニタリング方法について、それぞれ独自の提案がされたが、高い評価には至らなかった。</li> </ul>
資金調達計画、長期収支計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループの提案についても、資金調達の確実性があり、事業収支計画が施設整備計画及び維持管理計画と整合がとれ、健全性・適切性があると評価された。また、長期運営における資金確保の方法についても、万一の事態に配慮した余剰金積立の仕組み等いずれの提案も適切であると評価されるとともに、借入金返済計画についても安定性が確保されており、特に問題ないと判断された。</li> <li>・中でもグリーンハウスグループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループは、光熱水費の算定において、より信頼性の高い考え方に基づき積算されている点などについて高く評価された。</li> </ul>

## ② 設計・建設に関する評価

設計・建設に関する評価については、12点を配点し、次の5項目について審査を行った。

評価項目	講評
施設計画の基本方針及び配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループの提案についても、敷地条件を十分把握した上での適切な土地利用計画であると評価された。</li> <li>・トヨタ生協グループは、恒常風に対する防風・砂塵対策に配慮した配置計画及び安全に配慮した通路幅について評価された。</li> <li>・東急建設グループは、旧テニスコートを盛土して同一平面にする計画、動線及びゾーニングが明快な点が評価された。</li> </ul>



評価項目	講 評
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンハウスグループは、施設整備に係る基本方針が市の意向が盛り込まれた明確な提案であるとともに、曲面を使った印象的な魅力ある外観デザイン、利便性、安全性に配慮した機能的な施設配置及び動線計画が高く評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、施設整備に係る基本方針として地域資源を活かした提案など、市の意向に対する理解が評価された。また、安全性に配慮した機能的な動線計画が評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、施設整備に係る基本方針として地域資源を活かすとともに、魅力ある給食センターに配慮した提案など、市の考え方に対する理解が評価された。また、安全性に配慮した機能的かつ合理的な動線計画が評価された。</li> <li>・藤建設グループは、給食センターとしては先進的となる免震構造の採用、具体的な塩害対策及び本体施設と一体化した配送車両車庫の提案について評価された。</li> </ul>
施設内部のゾーニング・平面計画・動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループも、働きやすさ、利用しやすさ及び安全性等について熟慮されており、施設内部について機能的に配置された提案であった。</li> <li>・トヨタ生協グループは、幼稚園・保育園の調理室を完全分離した提案が高く評価された。</li> <li>・東急建設グループは、細分化された衛生区分や設備面における食の安全性の確保に係る提案が評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、給食エリアと調理員エリアの明快なゾーニング、施設・設備面における食の安全性の確保に係る具体的かつ丁寧な提案が高く評価された。また、内部動線計画に係る提案が具体的であり、高く評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、細分化した衛生区分や施設・設備面における食の安全性の確保に係る提案が評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、調理員休憩室を含む事務エリアの快適かつ適切なゾーニング、各室が機能的に連携した配置、交差汚染防止の工夫等の内部動線計画の適切性が高く評価された。</li> <li>・藤建設グループは、細分化された衛生区分、モニタリングシステムの導入等の施設・設備面における食の安全性の確保に係る具体的な提案などが評価された。</li> </ul>
施設の利便性、快適性、安全性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループについても、施設の利便性、快適性、安全性について熟慮された提案であった。</li> <li>・本事業の要求水準の特徴でもある「海へ開けた眺望の活用方策」については、各グループからそれぞれ特徴のある提案がなされた。中でもグリーンハウスグループ、魚国総本社グループの提</li> </ul>

評価項目	講 評
	<p>案は、より高く評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学の魅力づくりについては、食育図書室の設置、要求水準を上回る見学可能な部屋の数、見学ルートや見学窓の工夫等、各グループともに随所に工夫がみられる提案であった。特にグリーンハウスグループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループ、藤建設グループが評価された。</li> <li>・トヨタ生協グループは、新しいエネルギーマネジメントシステムの導入による労務負担の軽減への配慮が評価された。</li> <li>・東急建設グループは、労務負担の軽減につながる効率的な動線計画が評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、快適性に配慮した職員用休憩室の設置、労務負担の軽減への配慮や安全な作業環境への配慮に係る具体的な提案が評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、快適性に配慮したゆとりある見学通路や調理実習室の提案、わかりやすいサインの採用等ユニバーサルデザインの実践に係る具体的な提案が評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、利便性の高い職員用休憩室の配置、労務負担の軽減への配慮や安全な作業環境への配慮に係る具体的な提案が評価された。また、洗浄室・調理室の暑さ対策としてオール電化厨房の採用が評価された。</li> <li>・藤建設グループは、動線の短縮による労務負担軽減への配慮と洗浄室・調理室の暑さ対策としてオール電化厨房の採用が評価された。</li> </ul>
調理設備計画、食器食缶等調達計画、施設備品等調達計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループの提案も、作業性、効率性、合理性を考慮した調理設備計画であると評価された。特にグリーンハウスグループのより具体的な提案が高く評価された。</li> <li>・トヨタ生協グループは、具体的な更新計画の提案が評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、現場の声を反映した調理備品等の調達計画の具体的な提案、施設内の配置計画や動線計画について実態を踏まえた提案が評価された。</li> <li>・東急建設グループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループ、藤建設グループについては、アレルギー対応に係る具体的な提案が評価された。</li> </ul>
施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループの提案も、建設期間において必要となる工程について適切な計画が立案されていると評価された。中でも次のグループの提案は高く評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、工程計画や工事車両動線に関する具体的な提案が評価された。また、新技術を用いた設計による</li> </ul>

評価項目	講 評
	<p>品質管理向上に係る提案が評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東洋食品グループは、工程計画、工事車両動線等の周辺環境への配慮に関する提案について具体性があり評価された。また、施工品質を確保するための管理体制及び取組みについて高く評価された。</li> <li>・ 藤建設グループは、地域の実状に精通したグループ構成を活かした工程計画の立案と周辺環境への配慮に関する提案が評価された。</li> </ul>

### ③ 維持管理に関する評価

維持管理に関する評価については、4点を配点し、次の項目について審査を行った。

評価項目	講 評
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれのグループも、維持管理に係る基本方針は本業務の特性を理解した提案であるとともに、業務内容に係る提案に妥当性があると評価された。</li> <li>・ トヨタ生協グループは、維持管理業務に係る常駐職員の配置について評価された。</li> <li>・ 東急建設グループは、維持管理システムの導入及び当該システムの活用に係る提案が評価された。</li> <li>・ グリーンハウスグループは、維持管理業務に係る常駐職員の配置について評価された。</li> <li>・ 魚国総本社グループは、維持管理業務に係る常駐職員の配置、具体性のある長期修繕業務内容及び長期修繕計画、予防保全の考え方について評価された。</li> <li>・ 東洋食品グループは、維持管理システムの導入とそれらの運用計画に係る提案及び体制面での緊急時の対応に係る提案について評価された。また、具体性のある長期修繕業務内容及び長期修繕計画、予防保全の考え方が高く評価された。</li> <li>・ 藤建設グループは、維持管理業務に係る常駐職員の配置について評価された。</li> </ul>

#### ④ 運営に関する評価

運営に関する評価については、20点を配点し、次の6項目について審査を行った。

評価項目	講評
運営業務の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ生協グループは、代表企業からの各役割に応じた積極的な教育、指導、支援体制の構築について評価された。</li> <li>・東急建設グループは、業務品質を確保するための従業員教育計画及び災害・事故発生時における対応の適切性が評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、運営に係る基本方針に明確性があること、運営を行う組織編成及び役割分担が効率的・効果的な配置であること、業務品質を確保するための従業員教育が具体的であり、実現可能性があることが評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、正規職員の人員数、従業員教育が具体的であり、実現可能性があること、緊急時における近隣からのバックアップ体制の提案が評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、学校給食の特性を理解し、魅力ある給食センターとなるために配慮された実現性のある基本方針が評価された。また、正規職員の人員数、具体性のある従業員教育、災害・事故発生時における効果的な対応の提案が評価された。</li> <li>・藤建設グループは、正規職員の人員数、災害・事故発生時における効果的な対応の提案が評価された。</li> </ul>
調理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ生協グループは、幼稚園・保育園と小中学校の調理の完全分離による給食提供への配慮、調理過程における安全性の配慮に係る具体的な提案及びアレルギー対応食の提供に係る体制や調理工程上、管理上の配慮に係る具体的な提案が評価された。</li> <li>・東急建設グループは、調理過程における安全性への配慮及び炊飯業務に係る人員配置の工夫について評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、おいしい給食を確実に提供するための丁寧かつ具体的な提案が高く評価された。炊飯業務については、混ぜご飯に係る提案を含め具体的な提案、調理過程における安全性の配慮やアレルギー対応食の提供に係る提案等の具体性が評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、本業務内容について相応の理解があり、おいしい給食を提供するための対応として体制面、教育体系面などの提案が評価された。また、炊飯業務における園児対応、配送計画との整合に係る提案について評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、確実な調理業務の遂行を確保するための提案が丁寧かつ具体的であると評価された。また、おいしい給食を提供するための調理工程、手順書の策定等の提案及び調理過程における安全性の配慮に係る具体的な提案が評価された。</li> </ul>

評価項目	講評
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤建設グループは、おいしいご飯を提供するための炊飯業務に係る工夫及び調理過程における安全性の配慮に係る提案が具体的であると評価された。</li> </ul>
衛生管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれのグループについても、衛生管理体制、施設内外の衛生管理、従業員の健康管理・研修の適切性及び食品衛生、労働安全上の問題に対する未然防止策に係る提案は、適切かつ妥当性があると評価された。</li> <li>・ 中でも東洋食品グループは、外部からの検査指導、衛生管理教育及び衛生管理体制に係る提案について、高い評価がされた。</li> </ul>
配送・回収業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれのグループについても、温かい給食を提供するための工夫や、給食の運搬中及び受け渡しの安全性に対して配慮された提案であった。</li> <li>・ 中でもグリーンハウスグループは、温かい給食を提供するための工夫として、ハード面だけではなく、ソフト面での工夫が提案され、実現性のある効率的な配送・回収計画とあわせ高く評価された。また、運搬中の安全性の確保についても具体的な提案が評価された。</li> <li>・ 魚国総本社グループは、喫食時間に配慮した２段階配送を含む効率的な配送計画や衛生管理、安全性等に配慮したアレルギー対応食の運搬回収方法について高く評価された。</li> </ul>
食育の推進支援業務及び多彩な給食の提供支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育の推進支援について、各グループの実績・経験を活かした様々な提案がされた。また、一流シェフ（料理専門家）による監修給食については、いずれのグループも積極的かつ有効な提案がされた。</li> <li>・ トヨタ生協グループは、見学者、試食会対応といった各種対応支援業務に具体性があるとともに、開かれた給食センターとなるための方策について評価された。</li> <li>・ 東急建設グループは、食育の推進支援方策及び多彩な給食の提供への対応に係る提案があり、実現性について評価された。また、開かれた給食センターとなるための方策について具体性が評価された。</li> <li>・ グリーンハウスグループは、各種対応支援業務の細分化したケースについて具体的な提案と、業務遂行のためのバックアップ体制など実現性の高い提案がより評価された。また、開かれた給食センターとなるための工夫も評価された。</li> <li>・ 魚国総本社グループは、本事業における食育の推進支援業務を理解しており、その支援策及び多彩な給食の提供への対応につ</li> </ul>

評価項目	講 評
	<p>いて具体的かつ実績に基づいた提案があり、実現性について高く評価された。さらに、開かれた給食センターとなるための方策について具体性が評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋食品グループは、本事業における食育の推進支援業務を理解しており、その提案は具体性があり、かつ積極的で実現性が高いと評価された。また、見学者・試食会対応については、市との連携に配慮した提案が高く評価された。</li> <li>・藤建設グループは、見学者・試食会対応について、状況に配慮した提案が評価された。また、多彩な給食の提供への対応について具体的な提案が評価された。</li> </ul>
その他運営業務(各種補助、洗浄等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループについても、補助業務に関する提案の有効性・実現性、給食中止に対する対応策の有効性、洗浄業務における食の安全性を高めるための配慮及びその他安全・衛生面における配慮に係る提案が評価された。</li> <li>・中でも具体的な提案がみられたグリーンハウスグループ、魚国総本社グループ、東洋食品グループ、藤建設グループがより評価された。特にグリーンハウスグループは、不測の事態発生時における対応等について具体的な提案があり、高く評価された。</li> </ul>

### ⑤ 配慮事項に関する評価

配慮事項に関する評価については、16点を配点し、次の5項目について審査を行った。

評価項目	講 評
開業準備業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループについても、開業準備計画について市が想定しているスケジュール内に適切に計画されており、有効であると評価された。市との連携への配慮その他留意事項についても実現性のある提案が多くみられた。</li> <li>・中でも東洋食品グループは、各リハーサル計画やアレルギー対応食提供のための準備計画など、実務レベルの具体的な提案が高く評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、リハーサル計画の具体性及び有効性について高く評価された。</li> </ul>
配膳室等整備等業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのグループの提案についても、配膳室等整備等業務の工程計画が適切であるとともに、市が考える課題に対する解決方策についても、それぞれに実現可能性があるとして評価された。</li> <li>・トヨタ生協グループは、専任体制による業務遂行と早期着手を</li> </ul>

評価項目	講評
	<p>想定した工程計画が評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東急建設グループは、独自提案として施設の特性を踏まえた改修方法に係る提案が具体的であると評価された。</li> <li>グリーンハウスグループは、早期着手を想定した具体的な工程計画、明確に役割分担された業務執行体制が有効であると高く評価された。</li> <li>魚国総本社グループは、事業者の考える課題の解決策について評価された。</li> <li>東洋食品グループは、専任体制による業務遂行や配膳室整備委員会の設置及び具体的な工程計画について高く評価された。</li> <li>藤建設グループは、配膳室改修委員会の設置及び施設の特性を熟知した提案が評価された。</li> </ul>
地域経済・社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会への貢献として、地域コミュニティに対する積極的な参加を提案した魚国総本社グループ、東洋食品グループの提案が高く評価された。その他、地域社会への貢献方策としてグリーンハウスグループの実現性のある提案が評価された。</li> <li>地元企業の活用について、地元企業採用率の高い、東急建設グループ、魚国総本社グループ、藤建設グループが評価された。</li> </ul>
ライフサイクルコストの縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれのグループについても、様々な費目について積極的なライフサイクルコストの縮減方策が提案されており、評価された。</li> <li>トヨタ生協グループは、幼稚園・保育園専用調理室の設置によるライフサイクルコストの縮減方策について評価された。</li> <li>東急建設グループは、建設残土の利活用に伴う処理コストの削減方策について評価された。また、業務管理システムの採用による予防保全の実施について評価された。</li> <li>グリーンハウスグループは、具体的な予防保全方策の提案、メンテナンス性の高い作業環境について、実現可能性があると高く評価された。</li> <li>魚国総本社グループは、具体的な各種縮減方策について実現可能性があると高く評価された。</li> <li>東洋食品グループは、定期的な建築検査の実施による予防保全、オール電化方式の採用による空調負荷の軽減、環境推進委員会の設置などについて高く評価された。</li> <li>藤建設グループは、オール電化方式の採用による空調負荷の軽減及び省エネ委員会の設置による事業期間内の総量削減提案について評価された。</li> </ul>
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれのグループも、たはらエコガーデンシティ構想と整合した積極的かつ具体的な環境配慮にかかる提案がされた。</li> </ul>

評価項目	講評
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ生協グループは、雨水再利用設備、太陽光風力併用発電外灯の設置、ハイブリット配送車の使用などが評価された。</li> <li>・東急建設グループは、太陽光風力併用発電外灯の設置、ハイブリット配送車の使用などが評価された。</li> <li>・グリーンハウスグループは、風力発電、新技術を用いた照明計画や空調・換気・照明負荷等の低減、多項目にわたる周辺環境への配慮及びハイブリット配送車の使用などが高く評価された。</li> <li>・魚国総本社グループは、建設副産物、廃棄物等の適正使用、適正処理方法及び具体的なエコマテリアルの採用などが評価された。</li> <li>・東洋食品グループは、要求水準を大きく上回る出力の太陽光発電施設の設置、たはらエコガーデンシティ構想との整合に係るより具体的な提案及びハイブリット配送車の使用が高く評価された。</li> <li>・藤建設グループは、太陽光風力併用発電外灯の設置、ハイブリット配送車の使用などが評価された。</li> </ul>



(イ) 提案等に関する評価点

各グループの提案内容に関する評価の点数は、下記のとおりとなった。

評価項目	配点	トヨタ生協 グループ	東急建設 グループ	グリーンハウス グループ	魚国総本社 グループ	東洋食品 グループ	藤建設 グループ
<b>①事業計画に関する評価</b>	<b>8</b>	<b>4.30</b>	<b>4.10</b>	<b>6.60</b>	<b>6.60</b>	<b>7.70</b>	<b>4.70</b>
事業実施方針・組織体制及び 事業実施体制	2	1.00	0.70	1.70	1.70	2.00	0.80
リスク管理	2	1.10	1.40	1.60	1.60	2.00	1.50
業務品質の確保	2	0.90	0.80	1.70	1.60	2.00	1.20
資金調達計画 長期収支計画	2	1.30	1.20	1.60	1.70	1.70	1.20
<b>②施設・建設に関する評価</b>	<b>12</b>	<b>6.20</b>	<b>5.60</b>	<b>10.40</b>	<b>7.50</b>	<b>9.40</b>	<b>7.30</b>
施設計画の基本方針及び配置 計画	2	0.70	0.80	1.90	1.30	1.30	0.90
施設内部のゾーニング・平面計 画・動線計画	2	1.40	1.10	1.70	1.00	1.60	1.40
施設の利便性、快適性、安全 性等	4	2.20	2.00	3.40	3.00	3.80	2.80
調理設備計画、食器食缶等調 達計画、施設備品等調達計画	2	1.10	1.00	1.70	1.20	0.90	0.90
施工計画	2	0.80	0.70	1.70	1.00	1.80	1.30
<b>③維持管理に関する評価</b>	<b>4</b>	<b>2.60</b>	<b>2.20</b>	<b>2.20</b>	<b>2.80</b>	<b>3.40</b>	<b>1.80</b>
維持管理業務	4	2.60	2.20	2.20	2.80	3.40	1.80
<b>④運営に関する評価</b>	<b>20</b>	<b>12.40</b>	<b>10.40</b>	<b>17.50</b>	<b>16.70</b>	<b>17.00</b>	<b>11.80</b>
運營業務の基本方針	2	0.90	0.90	1.70	1.60	2.00	1.20
調理業務	4	3.20	2.00	3.80	3.20	3.40	2.20
衛生管理業務	4	3.00	3.00	3.40	3.60	3.80	3.20
配送・回収業務	4	1.80	1.20	3.60	3.20	2.40	1.80
食育の推進支援業務及び多彩 な給食の提供支援業務	4	2.40	2.20	3.20	3.60	3.80	2.00
その他運營業務(各種補助、洗 浄等)	2	1.10	1.10	1.80	1.50	1.60	1.40
<b>⑤配慮事項に関する評価</b>	<b>16</b>	<b>8.90</b>	<b>7.80</b>	<b>12.00</b>	<b>10.90</b>	<b>14.20</b>	<b>9.10</b>
開業準備業務	2	1.10	1.00	1.40	1.10	1.90	1.20
配膳室等整備等業務	2	1.40	0.80	1.80	1.20	1.90	1.30
地域経済・社会への貢献	4	2.20	2.20	2.60	3.40	3.40	3.00
ライフサイクルコストの縮減	4	2.00	2.00	3.20	2.80	3.40	1.80
環境への配慮	4	2.20	1.80	3.00	2.40	3.60	1.80
<b>提案内容 合計点</b>	<b>60</b>	<b>34.40</b>	<b>30.10</b>	<b>48.70</b>	<b>44.50</b>	<b>51.70</b>	<b>34.70</b>

### (ウ) 提案等の評価点の補正

提案等の評価点の補正の考え方にに基づき、応募者中、最高の評価点を獲得した東洋食品グループに満点である60点を付与した。

各応募者の具体的な補正後の評価点は下表のとおり。

グループ名	トヨタ生協	東急建設	グリーンハウス	魚国総本社	東洋食品	藤建設
提案内容の評価点	34.40	30.10	48.70	44.50	51.70	34.70
					最高点	
提案内容の評価点 (補正後)	<b>39.92</b>	<b>34.93</b>	<b>56.52</b>	<b>51.64</b>	<b>60.00</b>	<b>40.27</b>

### (エ) 提案価格の評価

応募者中、最低価格の提案であった藤建設グループに対し、提案価格点として満点の40点を付与した。それ以外の応募者に対しては、提案価格の評価に用いる計算式に基づき得点化を行った。

各応募者の算定された提案価格点は下表のとおり。

グループ名	トヨタ生協	東急建設	グリーンハウス	魚国総本社	東洋食品	藤建設
提案価格 (単位・円)	8,335,980,348	7,559,015,593	8,362,539,159	7,978,168,019	7,926,654,097	7,409,754,421
						最低価格
提案価格点	<b>35.56</b>	<b>39.21</b>	<b>35.44</b>	<b>37.15</b>	<b>37.39</b>	<b>40.00</b>

#### (オ) 総合評価点

補正後の提案内容の評価点に、提案価格点を加算し総合評価を行った結果、各応募者の総合評価点は下記のとおりとなった。

グループ名	トヨタ生協	東急建設	グリーンハウス	魚国総本社	東洋食品	藤建設
提案内容の評価点 (補正後)	39.92	34.93	56.52	51.64	60.00	40.27
提案価格点	35.56	39.21	35.44	37.15	37.39	40.00
総合評価点	75.48	74.14	91.96	88.79	97.39	80.27

#### 5) 最優秀提案者及び次点提案者の選定

上記のとおり、総合評価点の最高は97.39点の東洋食品グループ、次いで91.96点のグリーンハウスグループとなった。

これより、審査委員会は、東洋食品グループを最優秀提案者として、グリーンハウスグループを次点提案者として選定した。

## 4 総評

審査委員会は、事業者選定基準に基づいて厳正かつ公正に審査を行い、株式会社東洋食品を代表企業とする東洋食品グループを最優秀提案者として選定した。また、グリーンハウスグループを次点提案者として選定した。

応募者の事業提案書は、いずれも大変な力作であり、本事業に対する熱意や意気込みを大いに感じるものであったため、その提案書の評価は極めて難しかった。審査委員会としては、事業提案書の作成にあたっての努力について高く評価しており、各応募者の方々に重ねて深く感謝申し上げる次第である。

今後、最優秀提案者として選定された東洋食品グループが市と事業契約を締結し、本事業を実施するに際し、審査委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、同グループにおいては、以下の諸点についても十分に配慮して整備・運営いただけるよう、審査委員会として要望する。

- 15年にわたる長期の事業であるため、今後の社会変化にも対応可能な整備・運営に十分配慮すること。
- 給食センターから温かくおいしい給食を確実に提供するために、本件施設の設計にあたっては、市職員、学校給食栄養管理者等と十分に協議・調整を行うこと。特に下記事項については、配慮すること。
  - ・献立、調理方法等の実情に即した施設・設備とするため、更なる検証を行う。(例えば、時間内の確実な調理のために余裕を見込んだ調理釜の設置 等)
  - ・施設外観については、市内唯一の給食センターであり、多くの見学者の受け入れも見込まれることから、印象的で魅力ある外観となるように配慮する。
- 調理工程計画、配送計画等の運営に関する計画策定にあたっては、市職員、学校給食栄養管理者等と十分に協議・調整を行い、円滑かつ確実に温かい給食が提供できるよう、さらに詳細な検討を行うこと。
- 配膳室等整備等業務については、関係者と連携の上、提案頂いた課題解決策を踏まえながら着実に取り組み、市に過大な負担が生じないよう配慮するとともに、遅滞なく安全な業務遂行に努めること。
- 新たに整備が予定される施設は、全国最大級と見込まれるオール電化厨房の給食センターである。そのため、ピーク時間帯における電気使用量の抑制及び徹底した効率運転の追求による総電力使用量の抑制を行うなど、省エネルギーに努めること。

最後に、東洋食品グループが、事業期間にわたり提案内容を確実に実行することにより、田原市給食センター整備運営事業が安定的かつ円滑に継続され、田原市民の期待に添う「魅力ある給食センター」になることを切に願うところである。

以 上